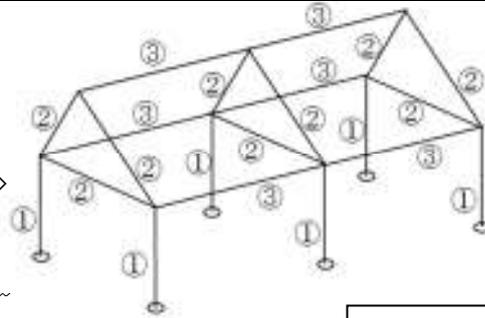


テント建てマニュアル

用意するものは以下の通り。

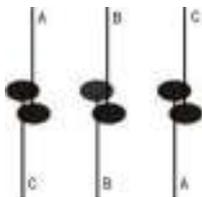
- ①脚<3種2本ずつ>
- ②梁(長)<3本>、屋根(斜辺)<6本>
- ③梁(短)<4本>、屋根(てっぺん)<2種1本ずつ>
- ④ホロ、横幕



なお、作業は必ず軍手を着用の上行ってください。

(1) 部材の配置

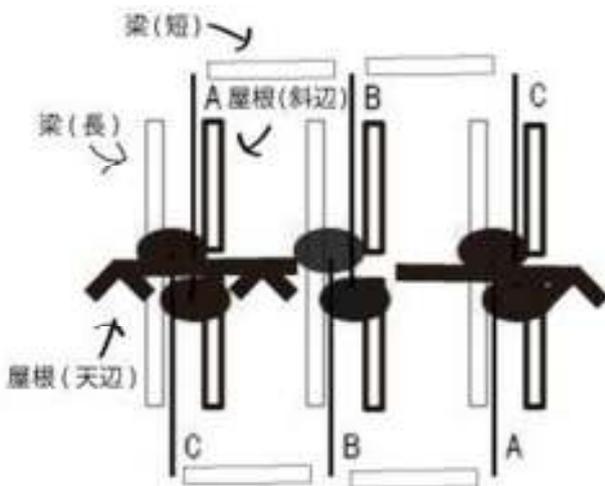
1) 脚を下図のように配置する。



2) 梁(長)、屋根(斜辺)を、テントの短辺(脚と同じ位置)に配置する。

3) 梁(短)をテントの長辺に配置し、屋根(てっぺん)をその中間に配置する。

4) 部材の配置完了。下図のようになっているはず。



(2) 組み立て

まず、脚の可動部分を立てる。



左図(脚A)の、①に梁(長)を、
②に梁(短)を入れる。

(脚Bには②が③を挟んで二つあり、
脚Cでは左右が逆。)

全ての脚でこの作業が終わった後、
屋根を組み立て、③に入れる。
これで、テントの枠組みは完成。

※:脚の区別について

下の写真のもの…A

穴が4つあるものが真ん中用…B

下の写真と左右が逆のもの…C



(3) ホロをかける

角を合わせる。外れないように紐を軽く結ぶ。

(4) テントを立てる。

支柱の頭にある穴のうち、横に出っ張っているもの
(脚Aでは②にあたる)を下から片手の手の平で支えな
がら持ち上げる。

(5) 筋交いをつける。

外れると危険なので、外れてしまわないようしっ
かりとはめる。

(6) 仕上げ

ホロの紐を結び、横幕をつける。横幕はテント後
ろと側面(他のテントと接していない場合のみ)に取り
付ける。これで完成。

テントバラシマニュアル

用意するものは以下の通り。

- ①ホロの袋
- ②部材を縛っていた紐
- ③軍手

(1) 横幕を外し、たたむ。ホロの袋には入れない。

(2) ホロの紐をほどく。

(3) テントをたたむ。

～たたみ方～

1. 各脚に一人つく。
2. 軍手をはめる。
3. 筋交いを外す。
4. テントを軽く持ち上げて、脚を内側に入れつつテントをおろす。このとき以下の点に注意する。
 - ・持ち上げておろす際、出っ張りを支えながら降ろす。(場所は裏の(4)参照)
 - ・可動部分で指を挟まないように気を付ける。
 - ・テントの内側に入らないようにする。

(4) ホロを外してたたむ。

ホロの入っていた袋に入るように、一回折るごとに空気を抜きながらできるだけ小さく畳んでいく。

(5) 部材をバラす。

バラした時、そのままの位置に置いておくと纏める時にわかりやすくてよい。

(6) 部材を纏める。

※脚の区別は建てマニュアル参照

脚の3種1本ずつの3本と、残りの脚を互い違いにして纏める。

残りの部材については、長辺の部材と短辺の部材でそれぞれ纏める。

(長辺の部材は、裏の建てマニュアルの②、短辺の部材は③にあたる)

(7) 部材を縛る。

まず、部材を縛っていた紐を奇数団体の責任者から受け取る。縛り方のポイントは以下の通り。

- ・縛るのは各まとまりの両端。(2か所縛る)
- ・脚については筋交いが動かないよう、筋交いの上から縛る。
- ・紐を一周させてから縛る。
- ・しっかり持って軽く持ち上げ、左右にゆすり、整える。
- ・結び方はリボン結び。

縛れたら、近くにいる腕章をつけた実行委員を呼び、**必ずチェックを受けてから返却**してください。

